

《論点メモ》

〔仮称〕エキスポランド跡地複合施設開発事業【環境影響評価提案書】

【全体事項】

本事業計画地周辺では、住宅団地の建設、運動・レジャー施設の建設などの大規模な事業が実施中又は実施予定であることから、可能な限りこれらの事業との複合的な環境影響を考慮したうえで、環境影響評価を実施することが必要ではないか。

また、深夜営業が予定されることから、騒音、振動、低周波音、動植物、生態系、景観等の予測時期について深夜も考慮することが必要ではないか。

【個別事項】

1 温室効果ガス・エネルギー

(1) 環境取組内容

ア 室内水平面照度に基づかないスポット照明や背景照明、また、ナイトパーズ、エネルギーのカスケード利用、温泉廃水や地下水を熱源としたヒートポンプ空調、地下熱利用、BEMSなどを採用し、大阪府建築物環境評価システム（CASBEE）のSランクの事業計画の検討が必要ではないか。

イ (仮称)吹田市立スタジアム建設事業と連携・共同して、温室効果ガス・エネルギーの低減策の検討が必要ではないか。

(2) 現況調査

ア 類似の施設における太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーの活用状況等に関する先進的な事例を調査することが必要ではないか。

イ (仮称)吹田市立スタジアム建設事業の供用後におけるエネルギー利用計画及び太陽光発電設備の設置計画等を調査することが必要ではないか。

(3) 予測及び評価の方法

先進的な環境取組内容を実施した場合の削減の程度を可能な限り定量的に予測及び評価することが必要ではないか。

2 廃棄物等

(1) 環境取組内容

ゼロエミッションを実現する事業計画の検討が必要ではないか。

(2) 現況調査

類似の施設における先進的な一般廃棄物削減事例の調査が必要ではないか。

(3) 予測及び評価の方法

先進的な環境取組内容を実施した場合の削減の程度を可能な限り定量的に予測及び評価することが必要ではないか。

3 ヒートアイランド現象

(1) 環境取組内容

エネルギー使用に伴う排熱を低減する方策の検討が必要ではないか。

(2) 現況調査

事業計画地周辺のヒートアイランド現象の状況について調査することが必要ではないか。

(3) 予測及び評価の方法

計画で予定している環境取組内容を実施しなかった場合と予測の結果を比較することで、可能な限り定量的に評価することが必要ではないか。

4 騒音

(1) 現況調査

休日の調査時期においては、万博公園の来場者が多数となる時期を選定することが必要ではないか。

(2) 予測

供用後の騒音に関する環境影響を事業活動が定常の状態になる時期だけでなく、イベント開催時や特異日においても予測することが必要ではないか。

(3) 調査地点

ア 一般環境騒音に係る調査地点として、清水を追加すること。なお、高層住宅に配慮して、現況調査、予測及び評価することが必要ではないか。

イ 道路交通騒音に係る調査地点として、府道1号線茨木摂津線(万博外周道路)北山田小学校付近を追加することが必要ではないか。

5 緑化(緑の質、緑の量)

(1) 環境取組内容

ア 緑被率を現状(20.8%)以上の計画とし、みどりの基本計画の市域の目標値(30.0%)を目標とした事業計画の検討が必要ではないか。

イ 環境省による生物多様性民間参画ガイドラインや愛知目標を参照とした事業計画地内レベルでの自然共生型の施設計画の検討が必要ではないか。

6 地盤沈下

(1) 予測の方法

地盤沈下を予測するにあたり、周辺の揚水の状況に配慮することが必要ではないか。

7 景観

(1) 予測の方法

照明に動的なものを予定しているのであれば、VR の作成により予測を行うことが必要ではないか。

8 評価の手法について（全般）

環境影響を最小限にとどめるよう効果的な環境取組を講じた上で、当該事業の実施による環境影響が可能な限り削減されるかどうかを評価すること。